

前年同月比	67.5	117.7	120.1	428.1	22.6	14.5	133.3	0	541.8	287.8	37.9	70.2	先国産はモン
キオあたり円	5,404	5,500	7,711	7,511	7,174	3,000	7,243	3,016	5,956	5,375	919	6,278	468キ減
2013年累計	142,348	53,983	65,447	4,494	105,600	5,925	50,114	48,317	8,104	10,068	10,910	99,494	468キ減
前年同期比	113.5	109.9	1191.9	440.2	67.5	48.5	160.8	123.7	230.1	353.0	251.0	94.7	112.9

表した貿易  
、平成25年  
肉輸出数量  
減の減少  
30キ(前年  
%減)と前  
468キ減

・4%増)と微増で、冷  
凍は2万5828キ(48  
・8%減)と冷凍品の減  
計をみると、輸出数量は  
備によるイ  
スラム教  
徒、イスラ

# 和牛プロモーション

## ジエトロ ニューヨーク開催

ジエトロと中央畜産会  
は10月28日、米国・ニュ  
ーヨークの404NYC  
セミナー会場で和牛のプ  
ロモーションを行った。  
このプロモーションは、  
最近海外で人気を博して  
いる日本酒と和牛とのペ  
アリングで行われ、「日  
本酒・和牛プロ向け普及  
セミナー」とネットワーキ  
ング」と銘打って実施さ  
れた。

このプロモーション事  
業は輸出拡大および日本  
食・食文化発信緊急対策  
事業の一環として行わ  
れ、スターゼンミートア  
ロセツサー、ミートコン  
パニオン、日本ハム、伊  
藤ハム、全農などを含む  
食肉事業者12の委員で構  
成。

会場には報道33%、レ  
7キ輸出された。  
ただ、13年1~9月累  
計をみると、輸出数量は  
ストラン19  
%、小売企  
業8%、輸  
入業者・配  
送業者5%  
などから8  
00人が招  
待客として  
詰めかけ、  
マスコミか  
らも多くの  
注目を集め  
ていた。



好評を博した和牛と日本酒のプロモーション

プロ向け  
普及セミナー  
では、全  
農畜産総合対策部の山口  
瑤介氏がオリエンテーシ  
ョンを行い、ミートコン  
パニオンの植村光一郎常  
務取締役が和牛のサーロ  
インステーキのカットシ  
ョングラムをストレーショ  
ン。

セミナー聴講者にはA  
5等級のサーロインを展  
示試食に供し、脂肪につ  
いて違和感をもたれるこ  
とが懸念されたが、その  
ようなことはまったくな  
く、芸術的なマーブリン  
グ(脂肪交雑)で、食感

はメルティ(とろけ  
る)で風味があつておい  
しいと好感を得ていた。  
質問では「飼料」や  
「と畜前のストレス解  
消」「牛へのマッサージ  
効果」「生体重」などが  
あがつていた。セミナー  
後に米国内の和牛の実態  
調査の結果、米国産、チ  
リ産、ニュージーランド  
産、カナダ産と、米国内  
でのグラスフェッドの和  
牛が存在し流通している  
ことも判明した。

# 食べて応援！でC.P

## 消費総合 センター 東日本の食肉支援

公益財団法人日本食肉  
消費総合センター(田家  
邦明理事長)は、消費者  
への適切な情報発信・理  
解醸成を図り、東日本銘  
柄食肉のブランド価値を  
再認識し、消費行動につ  
なげてもらうため、こと  
して3回目を迎える「東  
日本銘柄食肉 食べて応  
援」キャンペーンを11  
月11日から開催。

東日本大震災で被害を  
受けた9県(青森、岩  
手、宮城、福島、茨城、  
栃木、千葉、群馬、埼  
玉)の畜産生産者が丹精  
込めてつくり上げた食肉

を食べて被災地を応援し  
てもらうため、キャンペ  
ーン特設サイト( http:  
//www.jamri.or.jp/o  
pen)を設置した。

特設サイトでは「東日  
本食肉銘柄リスト」で参  
加47銘柄の食肉の特徴と  
実際に購入できる販売店  
・通信販売先や、各県の  
肉料理おすすめレシピな  
どを紹介する。また、東  
日本銘柄食肉が合計80人  
に当たるプレゼントキャ  
ンペーンを実施する。

プレゼントキャンペーン  
の概要は次のとおり。  
【応募期間】 第1回

使いてホリ手袋

元祖 **サクラメン**® 手袋

安心・安全

材料から全て日本製

スーパー・ストロングタイプ新登場！  
自社独自のクリーンルームで製造  
製造販売元

Hand Amenityから  
Human Amenityへ

**(株)精宏**

ホームページ:www.sakuramen.co.jp  
Tel.06-6350-4187 FAX.06-6396-4939

いよいよ忘年会シー  
ズン目前。アベノミク  
スで社用族の動きは？

北米産輸入牛の月齢  
規制緩和など。ことし  
もさまざまな出来事。

×

そろそろ10大ニュー  
スの候補選び。オリソ  
ピック決定は入るか？

×

流行語大賞の候補に  
「おもてなし」。昨年  
のワイルドから一転。

×

年末商戦も「おもて  
なし」の心で。さすれ  
ば、誤記あり得ず。

△沖縄県(旬丸市ミ  
ート)△アケ豚を香港  
へ)

